

暮らし+リンク

「暮らし+リンク」は、天然住宅の情報や活動報告、みなさまが持っている情報を発信し、“健康的な暮らしの交流の場”となることを目指して作ったニュースレターです。このニュースレターを通じて、皆様のお役に立てる素敵な情報をお届けしたいと思います。ぜひ、読んで楽しんでください。

ご意見、ご感想、掲載希望の情報もお待ちしています！！



被災地支援レポート

9月15日 宮城県気仙沼市 前浜マリンセンター落成式



前浜マリンセンターの落成式が行われました。あいにくの天気でしたが、住民・ボランティアの皆様など100名以上が集まり、笑いあり涙ありの式典となりました。

建物は木造平屋建てで床面積は約250㎡。会議室や調理室に加えて浴室やペレットストーブも完備しているので、災害時の拠点となり得ます。南側には広いデッキスペースがあり、そこから気持ち良い風が入ります。外壁の焼杉をはじめ、住民の皆様とともに建設した建物でもあります。中心でひととき存在感を放つのは、静かに建物を支える大きなコブシの大黒柱。山形県最上町から寄贈された「友情の大黒柱」です。

落成式のとりを飾ったのは地元の方による「大漁唄い込み」。威勢の良いおめでたい唄を聴きながら、皆様に「本当の強さ」を教えていただいたのだと思います。目の前で次々に起こる悲劇を受け入れるしかなかった、その先の皆様の「強さ」は実に清々しく、凜としており、そして底抜けに明るいものでした。泣かないことや我慢することだけが「強さ」ではないのかもしれませんが。

同時に建築の「強さ」のことも考えました。建築は人と人をつなげて見せてくれました。また、我々が設計上意図したことなど、最終的には無くなればよいと思っています。建築は手段であり、目的ではありません。

ここまで来ました。そして、これから新たなストーリーが始まります。「想いは形になるんだ」ということを目の前で鮮やかに証明してくれた前浜の皆様へ深く感謝しております。(アンビエックス 小野寺郷)



目次

- 被災地支援レポート
- 天然住宅バンク主催
イベント開催報告
- 天然住宅お話し会開催報告
- 今後のイベント
- 天然住宅バンク近況報告
- 天然住宅ものがたり
～私の生き方×暮らし方

今月の表紙の写真は、9月15日に落成式を行った前浜マリンセンターの「友情の大黒柱」です

【発行元】

一般社団法人 天然住宅
〒152-0031
東京都目黒区中根1-10-18
TEL 03-5726-4226
FAX 03-3725-5652
メール info@tennen.org

■天然住宅バンク主催イベント 開催報告

9月14日 「オフグリッドライブハウス 2.0」を開催しました

「果たしてパーソナルエネルギーで音は良くなるのか!？」という素朴な疑問がメインテーマとなった今回のイベント。毎日「めがねミーティング」や「DB(ドラゴンボール)ナイト」といったイベントが開催される阿佐ヶ谷ロフトにあって、このタイトルの秀逸さ(凡庸さ?)というのは、とても馴染む。脱原発みたいなメッセージではなく、こんな感じにしてみた。



登坂さん、yaeさん、佐藤タイジさんという豪華なゲストが出演してくれ、とっても素敵な音楽を奏でてくれた…のはもちろんなのですがさらには演奏を途中で止めて、『じゃあ、最初は東電の電力で』とか『オフグリッドいきます』と、聞き分けに協力してくださいました。皆さん、ノリがいい!!

肝心の音はといえば、、、やっぱり違う!! 大きい音のときのモワンがなくなり、スンと抜けて消える感じで、聞いていても違いは感じるし、おそらく歌っている側の方が違いを感じたのか、登坂さんも yaeさんも違いがわかった!と言っていました。おそらくみんな納得してくれたことでしょう。音が違ったね、だからなんだった?実はこの「音の違い」は、今まで体制がつくってきた社会と、これから私たちがつくっていくべき未来をメタファー的に表現しています(あとづけ)。オフグリッドの方が確かにキレイで、心地よい。

栗田さんは言います。もう脱原発は終わった。不要なものは自然と淘汰される。選択肢を示す段階まで来ていると。パーソナルエネルギーはまさにそのメッセージを体現する装置なのです。

ギターをかき鳴らすタイジさんはかっこよかった!政治家には頼りたくない♪独立するインディーズ電力♪できるんだから、しちゃおうよ!の時代が来ました。(田中竜二)

※パーソナルエネルギーとは…田中優宅の電力のオフグリッドを可能にさせた慧通信の栗田さんが開発した独立電源装置です

■天然住宅お話し会 開催報告

こどもに手渡したい天然住宅お話し会 by 田中優 @神奈川県逗子市

天然住宅の建て主さんには、小さなお子さんがある 30、40代の方がたくさんいらっしゃいます。この世代の方とお話をしていると感じるのは、子どもたちの未来に確かなものを残したいという気持ちを持っていること。健康のこと、環境のこと、社会のこと。そんな子育て世代に向けたお話し会を以前からずっとやりたいと思っていました。

9月13日、この日集まったのは、市内のお母さんを中心に、大人16人、そしてそのキッズたち11人。子どもをあやしながら真剣なまなざしで話を聞くお母さんたちを前に、優さんのお話もテンポよく進みます。前半の1時間は天然住宅のお話。壊される熱帯雨林、荒廃する日本の山、住宅の健康被害、そしてせつかく建てた家がわずか数十年でゴミになる事実。天然住宅の講演を初めて聞いた人にとっては、心にグサッと刺さる内容ばかり。

それでも優さんの話はいつも希望に満ち溢れています。後半の1時間は、その解決策としての天然住宅の試みをズラリ。もちろん最新のエコライフ事情も、お金に頼らない生き方についても、惜しまず話してくれました。

最後に、気になる食や放射能のことも、たっぷり30分の質問タイムを取り、2時間半のお話し会は終了。優さんの話を聞いてみたかったけど、これまでチャンスがなくて…という方が多く、今回のお話し会をやってよかったと改めて思いました。

子どもが小さいうちは、子連れになったり、遠出できなったり、自由に動けない時期もあります。それでも、この世代にこそ聞いてほしいのが天然住宅のお話。「うちの地域でもお話し会やって〜」という方、お待ちしておりますね!(鹿島伸子)



■天然住宅ものがたり～私の生き方×暮らし方～

あきやくん自慢のお家

東京都新宿区 廣岡さんご家族

室内に設置したお手製のプランコに乗りながら、「ぼくのお家は 4 階建てだよ」と嬉しそうに笑顔を見せてくれたのは息子の暁哉(あきや)くん。今年の冬で 4 才になります。廣岡さんご家族が初めて天然住宅の見学会に足を運んだのは暁哉くんが生後 3 ヶ月の頃。「もともと環境に負荷をかけたくないからと、自動車免許すら持たない主人の影響もあり、なるべく自然に寄り添った暮らしを目指してきました。暁哉を出産後、こだわりの授乳服を扱うお店モーハウスに行った時に天然住宅のチラシを見つけ、すぐに見学会に参加しました。

それから数ヵ月後、まだ生後半年ほどの暁哉くんを連れて、栗駒の皮むき間伐ツアーに参加した廣岡さん。普段から、暁哉くんをどんな人に会わせるかどんな体験をさせてあげるかを意識していることもあってか、栗駒のエコラの森には何度も足を運んで下さっています。ご主人の実家を二世帯住宅にと検討していましたが、土地が狭すぎて困っていたところ、2 回目のツアーに参加した翌日に、ご実家の近くになかば運命的に土地を見つけます。すでに天然住宅を知ってから1年以上の月日が経っていました。

目指したのはエネルギーを自給する暮らし

天然住宅を建て、新たに始めたのは玄関前に作った畑での野良仕事でした。「人と生き物にぐっと近い暮らしに変わったんです。共働きなのでそんなに手をかけられるわけではないんですが、生ゴミを埋めたらカボチャの芽が勝手に出てきてどんどん育ったり、頂いた苗木からも野菜が収穫できたりして。今年は暁哉の友達家族を呼んで収穫パーティもできました」。

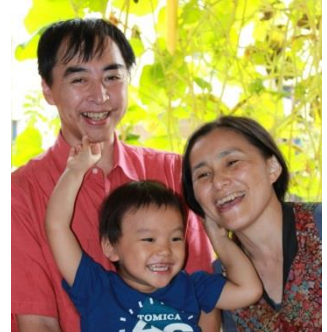
廣岡さん家族の試みは、野菜の栽培だけに留まりません。太陽光発電、太陽熱温水器、雨水タンク、薪ストーブ、ペレット調理器など、たくさんの自然エネルギーを導入し、エネルギーを自給する暮らしも目指しています。「真冬はお風呂のお湯が温まらず不便な思いをしたこともありますが、その度に自分たちなりのアイディアで何とか乗り切りました。このノウハウをいつか同じような暮らしを目指す方に伝えられたらと思っています」。新宿という都会の真ん中で田舎暮らしを目指している廣岡さん家族。「隣のおばあちゃんは、暁哉を本当の孫のように可愛がってくれます。そういう人と人とのつながりも嬉しい」のだとおっしゃっていました。

そんな暁哉くん。階段の上り下りを毎日繰り返しているからか、足腰がとても強くなりました。外出すれば「大工さんが建てたお家に帰りたい！」と言うほど、自分の家が大好きなんだそう。奥さまは言います。「(暁哉が)いつか山で働きたいなんて言ってくれる日が来たら嬉しいです。そしたら喜んで栗駒に修行に出してやるんですけどね(笑)」。

小さな頃から成長を見ている私たちスタッフにとっても、暁哉くんがこれからどんな大人になるのかとても楽しみです。廣岡さん、これからもよろしくお願いします！

天然住宅スタッフより

初めて廣岡さんご家族と会ったのは 3 年半以上前。その時はまだ、寝返りも打てなかった暁哉くんが、今ではすっかり頼もしいお兄ちゃんに！会うたびに大きくなったねえ～と親戚のおばさんのような心境になります。優しくてしっかり者の暁哉くん。大好きなお家ですます遅く育ってほしいです。(井上あいみ)



廣岡さんってどんな人？

ご主人と奥さん、息子さんの 3 人家族。2012 年 6 月、新宿区曙橋にて天然住宅を建てました。地下 1 階+地上 2 階+ロフト。息子の暁哉くん曰く「4 階建て」の自慢のおうちです。定期的開催させていただいている見学会では、廣岡さん自らパワーポイントを使って家の説明もして下さっています。



天然住宅
http://tennen.org